

令和5年度 60期生修学旅行（沖縄）



令和6年1月16日から令和6年1月19日まで 2年生が沖縄への修学旅行に行っていました。

1日目 1月16日



当日の滋賀県は寒波到来。大変寒い出発となりました。途中の高速道路も雪の影響でのろのろ運転です。一転大阪空港付近は青空がひろがっていました。



この修学旅行が「初」飛行機の生徒も多く、わくわく気分が高まります。



飛行機の中では、離陸や着陸にびっくり。気流の乱れによる揺れにドキドキです。2時間ほどのフライトは楽しめましたか？

今日一日お世話になる琉球バスが並んで出迎えてくれました。関西と比較して暖かい！



空港から「沖縄県営平和祈念公園」へ向かいました。さわやかな南国の空の下。79年前、ここが戦地であったとは考えられない穏やかな景色がありました。

沖縄戦で亡くなられた滋賀県出身の方たちを慰霊する近江の塔の前で慰霊行事を実施しました。世界では戦いの禍中にある国もある中で、現在私たちが享受している平和の大切さを改めて感じました。一人ひとりが、戦火の中で亡くなられた方や残された方の思いを心の中で感じてくれたことと思います。



バスは一路、宿泊先であるホテルオリオンモトブリゾートに向かいます。

途中の車窓の風景は、空も海も見たことのないような美しい光景でした。



夕食はビュッフェ形式でのごはんでした。

「くーぶいりちー(昆布の炒め物)」や「にんじんしりしり」など沖縄らしい料理も並んでいました。皆さん、しっかり食べていました。



お部屋は3~4人で利用していましたが、広々としたきれいなお部屋でした。

移動での疲れを取り、しっかりと休めたでしょうか？

廊下を歩いていると楽しそうな声がどこからか聞こえてくるような…??

2日目 1月17日



宿泊先の部屋はすべての部屋がオーシャンビューで、カーテンを開けると伊江島が見えます。

伊江島の小高い山は、海拔172mの岩山で「伊江島タッチュー」の名で親しまれています。

世界でもここでしか見られないオフスクレイプ現象(古い岩盤が新しい岩盤に潜りこみ、一部が剥がれて新しい岩盤の上に乗る現象)によって形づくられています。

早朝、まだ暗い時間帯ですが(沖縄の日の出はずいぶん遅く、7時ごろまで明るくなりませんでした)、野球部や陸上部、女子バレーボール部、女子バスケットボール部の皆さんが食事会場の前で体幹トレーニングを行っていました。





今日、2日目の活動は、ホームビジット体験です。
入村式では、琉球古武術の披露がありました。

これからそれぞれの班に分かれて、ご家庭のアンマー
(お母さん)、オジー、オバーに引率されて体験が始まります。
どんな体験が待っているかな。



体験後の集合写真です。

ホームビジットでは、それぞれのご家庭で、様々な充実した体験をさせていただいたようです。
生徒の皆さんは、ぴかぴかの笑顔で帰ってきました。

夕食後、修学旅行委員主催の学年レクリエーションを実施しました。



司会進行は修学旅行委員です



お誕生日おめでとう！



ダンスや歌の披露、クイズ大会、RADWIMPS「正解」の合唱など盛りだくさんのレクリエーションを学年で楽しみました。

3日目 1月18日

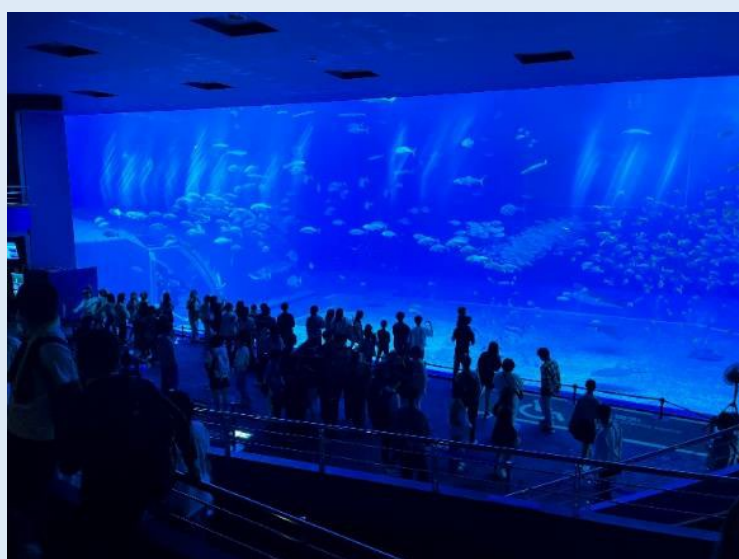


お世話になったホテルを出発し、この日の活動は「美ら海水族館」の見学と、那覇に向かいながらの「ハイヤー自主研修」です。3日目もお天気が良く、朝から暑さを感じるくらいの気温でした。このホテルから美ら海水族館へは歩いて10分の、近い距離です。



水族館入り口のジンベエザメのモチーフの下で各クラスが集合写真を撮り、美ら海水族館の見学です。





大きな海を切り取ったような青い空間。
ゆったりと魚たちが泳ぎ、水面の光を受けてきらきらと光る。

プルシャンブルー、青藍、縹色、ホリゾンブルー、薄水色、あさぎ色、紺碧、ターコイズブルー、青色、空色、ウルトラマリブルー、天色、紺青、コバルトブルー、瑠璃色、群青色、サファイアブルー…
どの青でもあって、どの青でもない、その場に居る者だけが見られた青が、そこにはありました。

午後からはハイヤー研修です。

班に分かれて、それぞれの班が計画を立てた研修場所に運転手さんに連れて行ってもらいます。



美味しいものを食べたり、きれいな景色を見たり、たくさんお買い物をしたり…楽しい時間を過ごしていたようで、ホテルに帰ってきた皆さんの表情は、疲れは見えるものの、良い顔をしていました。

4日目 1月19日



一泊だけでしたがお世話になった沖縄ハーバービューホテルです。ホテルの玄関前には大きなガジュマルの樹がありました。

朝ごはんを食べ、出発の準備をしたら、国際通り研修です。



またん
いちゃやびら

(またね)

沖縄の思い出作りはできましたか

各自でゆいレールに乗って那覇空港へ
向かいます



切符のQRコードを読み取るタイプの改札に戸惑う人多数！



全員が時間までに無事に空港に集合し、沖縄の地を後にしました。

大阪空港には予定時刻に到着し、米原駅まで滞りなく帰ってくる事ができました。

この度の修学旅行の実施に際しては、保護者の皆様はじめ、JTB の担当者様、移動での運転手さん、ガイドの皆様、ホームビジット体験のご家庭の皆様、宿泊先の皆様、たくさんの方々のお力添えのおかげで、生徒たちは大きな学びと思い出を残すことができました。

関係者の皆様には深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

60 期生の生徒たちは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中学校での修学旅行を延期されたり、場所の変更や、内容の変更を余儀なくされた経験を持った子どもたちです。それぞれの出身中学校の先生方や保護者の方が、彼らの思い出のためにご尽力くださり、それぞれに違った形での経験はありますが、今回の修学旅行ではみんなで参加することができ、多くの人数での宿泊や飛行機の搭乗など、初めての経験に生徒たちの表情が明るく輝いている様子がとても印象的でした。

この修学旅行の思い出を高校生活の一つの糧として、3 年生に向かって大きく成長し、さらにその先の自らの人生を大きく輝かせてくれることを願っています。